広報 しらたか No.1333 Nov.2026

編集と発行／白鷹町企画政策課
〒992-0892 山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥甲833
☎0238(85)2111 [FAX]0238(85)2128
ホームページ：https://www.town.shirataka.lg.jp
E-mail:kikaku@so.town.shirataka.yamagata.jp

広報しらたかは再生紙を使用しています。

この町で素敵な「未来（ミライ）」を描く方をご紹介します。

ミライのカタチ

よさこい踊りで自分らしさを表現し、町民の皆さんにも元気を与えたい。



よさこい白鷹櫻鷹會
小林（こばやし）　香織（かおり）さん（横田尻在住）

今回ご紹介するのは、よさこい白鷹櫻鷹會の小林さんです。

小林さんは、東京都東村山市の出身で、結婚を機に白鷹町に移住しました。娘さんが小学生の頃、同級生によさこい踊りをやろうと誘われたことがきっかけで、自身も一緒に始めることにしました。

「元々、運動があまり得意な方ではなかったので、最初は戸惑いましたね（笑）。でも、娘のやりたいという気持ちを尊重したかったので、一緒に頑張ろうと決心しました」と当時を振り返る小林さん。

娘さんが中学校に入学し、部活動などで忙しくなったタイミングで自身もよさこい踊りを辞めることになりました。しかし、2年前にお孫さんが町内のイベントで偶然見かけたよさこい踊りに興味を持ったことがきっかけで、再び始めることとなりました。「始めた頃は、『とにかく失敗してはいけない』というプレッシャーがとても大きくて、不安ばかり感じていました。でも、今はとにかく踊ることが楽しくてやっています。孫が失敗なんか気にせずに、いつでも笑って楽しそうに踊っている姿を見て、『踊り本来の楽しみ方ってこうなんだろうな』と気づかされたんです」と話す小林さん。

よさこい白鷹櫻鷹會は、約10名の女性グループで、町のイベントをはじめ、地元のお祭りやデイサービスセンターなどで踊りを披露しています。「私たちの踊りを見て、手拍子を交えながら楽しんでもらえることがとても嬉しくて、さまざまな所で町民の方に声をかけていただけるようになりました。楽しい仲間たちと活動を続けられることで、充実した日々を送れています。これからも、よさこい踊りで町に元気を与えられるように頑張ります！」と持ち前の明るさで語ってくれました。

私たちと一緒に
楽しく踊りませんか？

